イチオシ ガンバレ!地元・サイタマレーサーズ!

真冬の大宮バンクの厳しさは俺達が一番 知っている!過酷な〈500添〉も制御可能!!



平原康多 32 埼玉 87 .375 .625

 H
 S1
 山崎将幸
 27
 宮城
 92
 .000
 .363
 99.50
 0
 4
 0
 0
 2

 本
 S1
 伏見俊昭
 38
 福島
 75
 .153
 .461
 109.38
 0
 1
 5
 0
 0
 2

 S1
 山崎芳仁
 35
 福島
 88
 .428
 .428
 .428
 .110.57
 2
 3
 1
 0
 5

 S1
 諸橋
 愛
 37
 新潟
 79
 .307
 .461
 115.16
 0
 0
 6
 0
 0

| S1 | 鈴木 | 裕 | 30 | 千葉 | 92 | 294 | .352 | 101.47 | 3 | 2 | 1 | 0 | 7

 S1
 田中孝彦
 28
 静岡
 91
 .062
 .125
 102.12
 0
 0
 1
 1
 2

 中 S1
 三浦 稔 希
 39
 愛知
 76
 .000
 .100
 101.40
 0
 0
 0
 1
 0
 0
 1
 0
 0
 0
 1
 0
 0
 0
 0
 1
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0

 S1
 萩原
 操
 51
 三重
 51
 .153
 .230
 105.30
 0
 0
 0
 3
 0
 0

 S1
 三谷将太
 29
 奈良
 92
 .071
 .214
 107.76
 0
 1
 0
 2
 0

 数 S1
 古性優作
 23
 大阪
 100
 230
 .615
 108.00
 6
 2
 0
 0
 8

 S1
 松岡健介
 36
 兵庫
 87
 294
 .647
 113.52
 1
 7
 3
 0
 6

 大
 S1
 前反祐一郎
 41
 広島
 81
 .181
 .181
 .184
 .104.36
 0
 0
 0
 2
 0
 0

 S1
 渡部哲男
 35
 愛媛
 84
 285
 .571
 112.42
 0
 0
 3
 1
 0

 S1
 小野俊之
 38
 大分
 77
 .000
 .214
 109.78
 0
 0
 0
 0
 3
 0

 S2 成田直喜 39 青森 81 .166 .333 91.66 0 0 3 1 0

 S2 阿部英光 33 宮城 89 .200 .400 92.25 0 0 1 1 0

S2 三 澤 康 人 30 宮城 91 .166 .333 98.33 0 0 1 1 1 0 S2 保 科 千 春 23 宮城 100 266 .400 101.06 2 2 2 0 0 6

| \$2 | 佐久木 雄 一 | 35 | 福島 | 83 | 000 | 000 | 106.00 | 0 | 0 | 0 | 0

S2 真船 圭一郎 26 福島 94 .052 .157 96.05 1 2 0 0 9

| S2 | 矢 島 一 弥 | 29 | 群馬 | 92 | .000 | .000 | 93.80 | 0 | 0 | 0 | 0

S2 堀 政美 45 茨城 65 .083 .250 93.16 0 0 3 0 0

| S2 | 飯 山 泰 行 | 29 | 茨城 | 98 | 200 | .300 | 98.90 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 | S2 | 小 坂 敏 之 | 42 | 栃木 | 74 | .153 | .153 | 102.15 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0

S2 松 岡 慶 彦 40 栃木 74 100 200 9460 0 1 0 1 0 1 S2 長 島 大 介 25 栃木 96 307 384 101.15 2 3 0 0 4

 82
 尾崎
 剛
 37
 埼玉
 79
 .083
 .166
 103.36
 0
 0
 1
 1
 0

 82
 小島
 雅章
 39
 埼玉
 83
 .066
 200
 97.86
 0
 3
 0
 0
 0

S2 白岩大助 35 埼玉 84 .117 .470 94.35 0 1 4 3 1 S2 大澤雄大 32 埼玉 89 .090 .181 97.90 0 0 1 1 1 0

 S2
 小 宮
 剛
 38
 東京
 82
 .000
 .125
 101.50
 0
 0
 0
 1
 0

 S2
 長 井 妙 樹
 26
 東京
 96
 .333
 .533
 92.66
 1
 7
 0
 0
 4

 S2
 會 田 正 44
 千葉
 68
 .000
 .000
 96.50
 0
 0
 0
 0
 0
 0

 S2
 江 守
 昇
 39
 千葉
 73
 .000
 .307
 103.76
 0
 0
 0
 0
 4
 0

 S2
 高橋雅之
 32
 千葉
 90
 .000
 .125
 102.25
 0
 0
 1
 1
 0

 S2
 服部正博
 29
 千葉
 91
 .625
 .625
 95.71
 0
 3
 2
 0
 1

三 住 博 昭 | 46 | 神奈 | 61 | 250 | 416 | 94.83 | 0 | 0 | 4

 S2
 山田幸司
 43
 神奈
 78
 .000
 .133
 103.33
 0
 0
 1
 1
 0

 S2
 石塚孝幸
 34
 神奈
 89
 .076
 .153
 101.07
 0
 0
 1
 1
 0

 S2
 森川
 剛
 35
 神奈
 89
 .333
 .500
 87.83
 0
 3
 3
 0
 0

S2 武田憲祐 31 神奈 93 .142 214 100.78 0 0 2 1 0 S2 望月紀男 37 静岡 79 .000 .111 88.50 0 0 0 1 0

S2 荒 木 伸 哉 35 静岡 87 .133 .200 100.86 0 1 1 1 0

S2 大谷靖茂 32 愛知 93 333 33 101.55 1 3 2 0 4 S2 藤原 誠 42 岐阜 69 111 111 95.33 0 0 1 0 0

S2 森川 大輔 27 岐阜 92 000 000 93.33 0 0 0 0 0 S2 西村 豊 34 三重 84 000 166 97.40 0 0 0 1 0

S2 三 宅 裕 武 33 三重 88 .125 250 98.00 0 0 3 1 0

 S2
 榊原
 洋
 36
 岡山
 85
 .363
 .454
 94.40
 0
 1
 3
 1
 0

 S2
 連
 佛康
 29
 岡山
 93
 .000
 .000
 0.00
 0
 0
 0
 0
 0
 0

 S2
 工 藤 文 彦
 32
 岡山
 97
 .333
 .416
 94.41
 0
 5
 0
 0
 2

 S2
 郡
 英 治
 45
 広島
 68
 .000
 .000
 94.72
 0
 0
 0
 0
 0

 S2
 米澤大輔
 39
 徳島
 73
 .000
 230
 104.16
 0
 0
 0
 3
 0

 S2
 伊藤大彦
 31
 徳島
 89
 .166
 .166
 94.75
 0
 0
 2
 0
 0

 S2 日野博幸30 愛媛103,454,727 93.36 6 2 0 0 8

 S2 古川 圭47 福岡65,166 250 9241 0 0 2 1 0

 S2 田中弘章43 福岡68,266 533 93.20 0 1 5 2 0

 S2 神開将暢42 福岡69,062 062 95.50 0 0 1 0 0

S2 良永浩一 35 福岡 86 062 250 98.68 0 0 2 2 0

| S2 | 高 木 竜 司 | 38 | 熊本 | 82 | .125 | .187 | 98.66 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0

S2 松 岡 孝 高 29 熊本 98 .333 .555 94.88 2 2 1 0 4

※ 平成26年12月2日現在のデータです

新 井 秀 明 34 熊本 85 222 .388 106.22 0 0 6

小岩哲也 28 大分 101 222 .444 104.00

篠 塚 光 一 34 兵庫 90 .142 .285 102.92 0 0 3 1 0 内 藤 敦 38 岡山 80 .000 .000 91.53 0 0 0 0 0

福井 79 .083

近 S2 元 砂 勇 雪 23 奈良 103 .583 .666 93.50 6 2 0 0 8 8 S2 酒 井 耕 介 50 京都 56 .142 .500 95.14 0 0 3 4 0

S2 倉 野 隆太郎 30 愛知 91 .062 .312 97.68

S2 梅 山 英 樹 42 群馬 72 .111 .111 88.33

S2 金子哲大 26 埼玉 95 .166 .250 97.41

S2 飯 田 辰 哉 41 千葉 72 .000 .058 97.29

29 福島 91 .076 .153 91.92

33 大阪 88 .000 .500 118.75

 中
 S1
 小川 圭二
 44
 徳島
 68
 .000
 .000
 0.00
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0

松 坂 英 司 40 神奈 82 .117 .176 110.64 0

上野真吾 27 神奈 93 125 250 101.85

 S1
 宗景祐樹
 39
 栃木
 84
 .058
 .294
 .110.64
 0
 0
 1
 4
 0

 S1
 池田勇人
 29
 埼玉
 90
 .214
 .500
 .110.57
 4
 0
 2
 1
 5

 S1
 相川永伍
 31
 埼玉
 95
 .500
 .562
 .109.68
 5
 4
 0
 0
 10

平原康多とのタッグ を決勝で見たい!

埼玉を代表する先行選手から関 東代表〜全国区と着実に成長を 遂げた。池田勇人 – 平原康多(時 には逆の並びも)のセットは、今 や埼玉最強の連係と言えよう。 地元の熱い声援を背に決勝進出 は使命だ!



清々しき徹底先行が ファンの胸を打つ

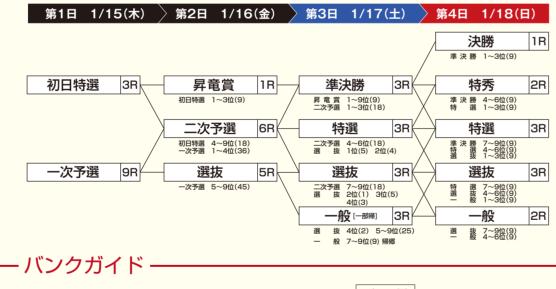
愚直なまでの先行一本と記せば表現に齟齬(そご)をきたすかも知れないが、ずっと「それ」を守って一歩一歩駆け上がってきた。33バンクも400も500バンクも関係なし。そんな先行屋の気概を御覧あれ。

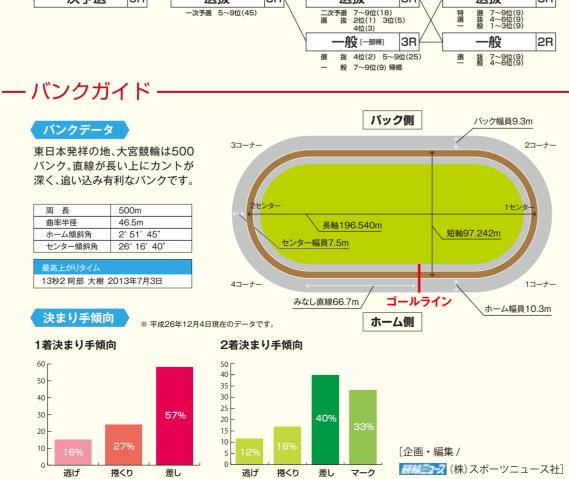
39 小島雅章 83期

裏方で走り回る 副支部長の晴れ舞台

埼玉地区に限らず大きな開催でこの選手の背広姿をよく見る。 選手会埼玉支部の副支部長と して日々汗を掻く毎日だ。裏方 から表舞台へと書けば大仰に過 ぎるが、健在のタテの脚で4日 間全力。

— 概定番組表





地元VS中部 池田-平原VS深谷-浅井 と書き換えれば名勝負の予感

はじめに平原康多に過去4回もの大宮記念制覇があることを特筆しておきたい。2014年の平原はまさに最後の最後、小倉競輪祭の優勝によってGP出場・S級S班の座を堅守した。いろいろな事が起こりすぎた1年だっただけに、逆境克服の好漢にエールを送りたい。「地元記念の平原には逆らえない」昨年のキャッチ・コピーで結んでおこうか。

その平原とのタッグを切望されているのが池田勇人だ。今や完全な全国区の先行選手に成長、各地の特別競輪戦線でも活躍しているし、平原との連係 実績も申し分ない。そしてもう1人、相川永伍の名前も挙げておく。一年前と スタイルは変わっていないが、パワーもスピードも格段に増した。決勝で池田と 平原の「前をまわる」ことだって夢ではない。

深谷知広と浅井康太の中部セットはもはや説明不要。現在の競輪界に於いて、一位二位を争う「名物」連係と言えよう。深谷が「剛」で浅井が「柔」と記せば短絡に過ぎるが、ともに超一流の競輪的素養を幾つも持っている。それが絶妙なブレンドによって倍加することは想像に難くない。地元記念制覇に使命感すら持つ平原にとって、最大の敵は誰かと問われれば、即答で「中部の2人」だと返したい。

ある人は岩津裕介をタテ型だと言い、ある人はマーク型だと言うが、両方正解 なのだろう。というより岩津の最大の特徴は、状況・状況で対応する〈嗅覚〉だ。 どうしよう?の前に自転車が動く。自然体という言葉では括れない後敏な競走 を何度見たことか。ハラハラドキドキしながら最後の椅子を守った初めてのS級S班。ずっと先を歩いていた平原とは奇しくも87期の同期生だ。その平原のお膝元での記念競輪なら期するものもあろう。単騎も苦にしないタイプだが、中四国筋の阿竹智史と連係なら作戦の幅も広がる。

各人各様!

東西各地区からも個性派レーサーの名前がズラリ

北日本は層の厚さで勝負したい。菊地圭尚は「自分の型」を掴んだ様子。2014年は特別競輪でも地歩を固める活躍をした。強烈捲りの使い手が厳しいマーク型に一変する。かつ魅せる競輪という意味でも菊地は貴重な存在である。山崎芳仁と伏見俊昭、かつての名コンビ(失礼容赦)も忘れてはならない。特に山崎には2014年西武園記念で池田-平原の地元作戦粉砕というアドバンテージもある。

近畿は松岡健介 - 南修二を基本線に決勝で1人でも上積みしたいところだが、勿論2人だけでも好勝負は可能。松岡が風を切り南が別線にキツーいブロック、 そんな絵も浮かんでくる。

練習仲間の大分コンビにも触れておきたい。小野俊之に任された時の菅原晃の仕掛けは凄まじく、常とは違うのだ。菅原を庇いに庇う小野が「番手の仕事」。 競輪の醍醐味が味わえるかも知れない。

南関は数的にも劣勢を否めないが、中村浩士の安定感は魅力だ。たとえ孤軍となっても得意な500バンクならワンチャンスはあり。

